

2018年8月31日

各 位

宇部マテリアルズ株式会社

## 第 55 回 下水道研究発表会発表について

2018年7月24日(火)～26日(木)、北九州市西日本総合展示場で開催された第55回下水道研究発表会(主催:公益社団法人日本下水道協会)において、当社の実証研究について発表を行いました。内容は、国内外で問題が顕在化しつつある、下水設備の腐蝕への、水酸化マグネシウムによる対策事例です。関連業界の皆様幅広く検討を頂きますよう、ご紹介申し上げます。

### 記

発表題目「水酸化マグネシウムを用いた下水汚泥からの硫化水素発生低減効果の実証実験」

発表者 宇部マテリアルズ株式会社 営業企画部 近藤篤史

### 発表要旨

硫化水素による下水管渠や設備の腐食は、道路陥没事故の原因となるなど、大きな社会問題となっている。この度、実証試験を行った下水処理施設では、一方の処理場(処理場 A)の汚泥を他方(処理場 B)に圧送し脱水・焼却を行っている。圧送直後、処理場 B 受槽内の汚泥から発生する硫化水素によって設備腐食が懸念されている。今回、当該施設を管理する市の協力を得て、処理場 A の下水汚泥への水酸化マグネシウムスラリー(35 wt%濃度品)を添加。pH 調整を行い、処理場 B 汚泥受槽内の硫化水素濃度を測定した。結果、1 m<sup>3</sup>の下水汚泥に対して0.6 Lの水酸化マグネシウムスラリー添加で、受槽内硫化水素濃度は無添加時の50%以下となることを確認した。添加割合の制御により、将来的には硫化水素発生量の80%抑制を見込んでいる。

お問い合わせ先 宇部マテリアルズ株式会社 マグネシア関連事業部  
営業企画部 渡辺国男、近藤篤史、高橋広樹  
電話 0836-31-6085

以 上